「現代の名工」県内から5人

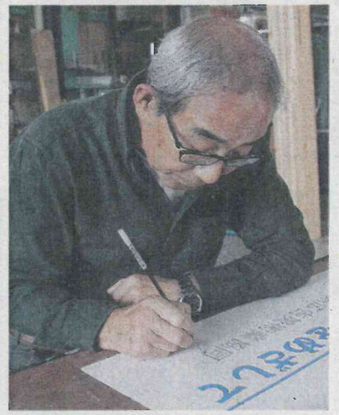
優れた技能を有し、その道で第一人者とされる人を厚生労働省が表彰する「現代の名工」に県内から５人が選ばれた。５人の技と歩みを紹介する。

鳥居 正孝（とりい まさたか）さん 54
湖西・金型仕上工

デンソー湖西製作所（湖西市）で入社から一貫して金型部品の製作、保全に携わる。十一年前から人材育成や環境改善にも関わる。

幼い頃、父の営む塗装工場が遊び場だった。「金型の段階で妥協しては高精度の部品を作れない」。金型の出来を保証する調整機器を導入し、ロボットを使わない金型システムなどを考案した。熟練者と若手をペアにした技能継承や、現場で設計者が作業できる体制など、活気を生む環境作りも進める。「チームワークで今後も、後進を育てていきたい」。愛知県新城市。（野村由美子）

堤 丈夫（つつみ たけお）さん 71
清水区・広告美術工



十八歳で看板制作の道に入り、筆一本で整然とした文字列や、映画スターの似顔絵を描く技術を磨いてきた。「かつて看板屋は街角の芸術家と言われたが、実際は職人」。書体ごとに文字の形を覚えるため、日々、筆を握って修業した。

看板屋「タックサイン」を静岡市内で営みながら、県広告美術技能士会長などを務め技術の普及に貢献。近年は筆に代わり、パソコンでの制作が主流になった。「この五十年で大きな変化を経験したが、子どものころに憧れた仕事を続けられてよかった」。静岡市清水区。（岸友里）

松浦 源（まつうら はじめ）さん 75
清水区・建築板金工

静岡市清水区で「松浦工業」を営む。建物の大型屋根の施工など板金業に六十年携わってきた。「努力に勝る天才なし」と語る。

十五歳で板金業の道に入り、二十二歳で独立。雨漏りしにくい独自の工法を編み出し、広く業界に普及させた。自身の菩提寺「龍雲院」（清水区）はじめ、これまで九つの寺社の屋根を施工してきた。

県板金工業組合の技能検定委員長や理事長として後進の育成にも尽力。「ただただ、いろんなことに挑戦しながら一生懸命やってきただけ」。静岡市清水区。（瀬田貴嗣）

柴田 芳伸（しばた よしのぶ）さん 65
掛川・金属熱処理工

「無我夢中でやってきた」。事務職として就職したが、職人不足から三十歳で職人の道に。独学で金属熱処理技術を覚えた。「当時は〝仕事は先輩の後ろ姿で覚えろ〟の時代。苦労しました」と振り返る。

一人前になると、金属の結晶を均一化する「焼準（しょうじゅん）」のエネルギーの無駄を研究。六年前、瞬時に次の工程に移す技術を開発した。それまでは一日費やしていた。現在、省エネとコスト削減に役立つとして、その技術を国内外で指導する。新たな省エネ開発も怠らず「完成近し」とほほ笑む。掛川市。（伊藤一樹）

戸塚 順一（とづか じゅんいち）さん 67
御前崎・建築とび工

二十歳で父を亡くした。家業の製茶をやめ、とびの道に本格的に入り、半世紀。掛川城天守閣の修繕用の足場敷設も担当した。

建物を丸ごと移動させる伝統的な曳家を得意とし、手掛けた物件は三百を超える。「百軒あればすべて違う。建物の構造を考え、どうジャッキを使えば上がるかを考える」。区画整理が盛んだった一九七〇～八〇年代には、多い年で年間二十軒を動かした。

受賞の知らせに、「飯を食った分だけ、信用と技術が付いてくる。信用を失うのは一日。安全第一だ」。御前崎市。（河野貴子）

県内

きょうの天気 13日

	朝	昼	夜		
浜松				30	19/14
天竜				30	18/13
北遠				30	18/11
磐田				30	19/14
掛川				30	18/13
御前崎				30	19/14
静岡				30	19/14
三島				30	19/13

きょうの天気の☂は5ミリ以上、☔は5ミリ未満

□のち時々　☂6-24時の最高降水確率（%）　最高気温/最低気温

（気象協会調べ）

清水　千代子（浜松市東区）

私立幼稚園関係者 助成拡充の要望書
県などに提出

県内の私立幼稚園関係者らが集う「私学振興・ふじのくに大会」が十二日、静岡市駿河区のホテルであり、県の助成制度拡充などを求める大会決議案を可決した。要望書としてまとめ、県や県私学振興議員連盟などに提出した。

県私学協会など五団体から千人が参加。県私立幼稚園振興協会の千葉一道理事長は、来年十月から始まる幼児教育・保育の無償化に触れ、「保育の需要に応え

あいさつする県私立幼稚園振興協会の千葉一道理事長＝静岡市駿河区で

少年の主張全国大会
内山さん（浜松佐久間中）審査

東京で十一日に開かれた「第四十回少年の主張全国大会」で、浜松市佐久間中学校三年の内山ほの栞（かん）さん（一三）が四位相当の「審査委員会委員長賞」を受賞した。同市の出場者として初めての上位入賞。十二日、内山さんは両親らと市役所を訪れ、鈴木康友市長に結果を報告した。

内山さんは、生まれつき両足が不自由だったことから、悩んだり苦しんだりした心境を記した作文「自分を好きになる」を発表。置かれた境遇にとらわれない人の「心の強さ」を前向きに伝えた。

浜松市からの出場者として初めて上位入賞した内山ほの栞さん＝浜松市役所で

浜松市と「すべての人にとっても、」られ、十賞を喜

大会の次家の

したか

もあっ

をいた

精いっ

という

浜松

一九九

区）か

り。応

選ばれ

した。

いびがわマラソン 北谷さん3位入賞
駿河区・静岡大4年

岐阜県揖斐川町で十一日に開かれた「いびがわマラソン」（中日新聞社など主催）で、県勢では静岡市駿河区の静岡大四年、北谷友梨佳さん（二一）が女子ハーフで三位入賞を果たした。

フルとハーフの二部門に東海地方を中心に八千九百人のランナーが出場。秋が深まる揖斐川沿いのアップダウンの激しい難関コースに挑んだ。

北谷さんは自己ベストの1時間29分47秒を記録。十月に米国・セントジョージ市で開かれた市民マラソンで上位に入賞して派遣されてきた外国人選手二人に続き、日本選手トップでゴールした。

いびがわマラソンは初参

女子ハーフで日本人トップでゴールする北谷友梨佳さん＝岐阜県揖斐川町で